



THE Y'S MEN'S CLUB OF



Osaka-Kawachi

2008年6月報

Vol 392

2007~2008年度【主 題】

クラブ主題 「クラブはひとつのオーケストラ」

丸尾 欽造

阪和部主題 「共に楽しく歩もうワイズライフ」

遠藤通寛 (大阪泉北クラブ)

西日本区主題 「Let's move forward with conviction!」「確信を持って前進しよう!」

神谷尚孝 (和歌山クラブ)

アジア主題 「Service Without Borders」 国境なき奉仕

藤井寛敏 (東京江東クラブ)

「Let's join under the Y's Men's Flag」 ワイズメンの旗の下に

国際主題 「Service Without Borders」 国境なき奉仕

Lasse Bergstedt (デンマーク)

「Let's Show-Let's Grow」 示そうワイズ! 伸ばそうワイズ!

【今月の聖句】 ガラテヤ人への手紙 3章 28 節 (選・解説 岩坂正雄)

もはやユダヤ人もギリシャ人もなく、奴隷も自由人もなく、男も女もない。あなたがたはキリスト・イエスにあって一つだからである。

(--- ワイズダムによって結ばれた者として、新しいワイズ年度に向かって前進しよう。---)

回顧と感謝

会長 丸尾 欽造



会長としての一年が終わろうとしている。思い返せば長かったようでもあり、また短かったような気がする。毎月の例会が奉仕へのエネルギーを蓄える場として充実したものになるように、また、それぞれ担当された事業活動やプログラムにおいてその環境づくりや方向性について、いずれも会長として適切な対応ができただろうか。準備していただいた方々の思いや狙いを十分に露出することができただろうか。

クラブ主題「クラブはひとつのオーケストラ」の意図するところは、それぞれの役割が不可欠なものであり、不協和音のない、のびのびとその機能を発揮していただくことを示唆したものであったが、正しく指揮棒が振れたかどうか、客観的にみて課題は残る。築いてきた独自のプログラムも成長期を脱し成熟期に入っている。チェックが求められよう。過密な年度計画のプログラムを展開するにあたっては、均衡のとれた役割シフトが必要であり、その面からもリーダーシップ開発をおろそかにはできない。今期、国際向けホームページの充実、それに派生してロシアとの交流に発展するなど対外的に視線を向ける、まさに国際クラブとして従来とは角度の違った意識が芽生えたのではないかと。IBC であるサドルバックバレークラブの存在消息が途絶えていることは無念であり、済州クラブにおいてもキーマンの他界など交流が低迷していることは淋しい。区内は強烈な EMC 旋風の年でもあった。2名の新たな会員を迎え、さらにまた1名を加える日を迎える。女性会員が6名となり、10名をカウントする日もそう遠くではないと思う。その時には、「大阪河内ワイズメン・アンド・ウィーメンズクラブ」の名称を冠することができれば愉快である。今期の総括と次年度への計画を確認する区代議員会での役割を経て、山内信三次期会長へバトンをお渡しすることになる。一年間のご尽力に心より感謝いたします。

6月例会プログラム

6月19日(木) サンホーム6F

司会 横田 憲子 君

開会点鐘	丸尾 会長
ワイズソング	— 同
聖句朗読	山内信三君
ゲスト&ビジター紹介	司会者
会長の時間	丸尾 会長
インフォメーション	各 担当
食前感謝	山内信三君
食事	— 同
クラブ員スピーチ	佐古至弘君
テーマ	

「奈良傳さんの思い出」

会長の年間総括報告 丸尾 会長

各事業委員による補足

誕生・結婚祝 丸尾 会長

にこにこアワー 望月君 & 大谷君

YMCAの歌 — 同

閉会挨拶・点鐘 丸尾 会長

会 員 数	22名	ゲスト&ビジター	12名	5月度BFポイント	書き損じハガキ	にこにこファンド
(広義&メネット会員)	0名	メネット&コメント	6名	現金	5月分	5月分
会 員 出 席 者	17名	例 会 出 席 者	35名	累計	0円	28,217円
メ ー ク ア ッ プ	0名	役 員 会 出 席 者	11名	切手	0円	累 計
5 月 の 出 席 率	77.3%	5 月 の 全 出 席 者	46名	累計	0円	208,667円

前月の出席率訂正 %を %に訂正いたします。

5月例会報告

--サンホーム 6階 --

記録 丸尾欽造

2008年5月15日(木 18:30~21:00)

出席者(敬称略)

メソ 佐古・芳澤・新本・初田・藤井・伊藤・丸尾・大谷・尾北・横田・望月・濱添・山内・田中・宮本・正野・中野・

メネット 丸尾・初田・伊藤・望月・大藪・新本
ゲスト&ピジター

今井利子(なかのしま)・吉田全孝(サウス)・遠藤通寛・典子・佐々木貞子(泉北)・林成子・杉浦英・文子・宍戸秀子(奈良)・荒川恭次(名古屋グランパス)・加藤寿枝(宮本さんのサポーター)・鍛冶田千文(ゲストスピーカー)

以上 35 名

メネットへの感謝と敬意を表す例会として!!



「“ 爽やかな笑顔 ” を、今日の例会の合言葉にします」と、司会の伊藤玲子メネットのご挨拶で始まる。ざわついていた例会場が静まり、光が差した。例年、5月例会の「主権」

は、メネット会に移譲するのが慣わしである。会長席には丸尾初子メネット会長。感性に満ちたゲストのご紹介は、会場をとて和やかな雰囲気導いた。聖句朗読は初田真佐子メネット。新本力子メネットの食前の感謝は、「儀式」としてではなく神様への語りだった。手を合わせられ、静かな口調で一心に祈りをささげる姿には力みもなく実にすがすがしいものであった。来会いただいたお客様の顔ぶれがまた凄い。林成子メネット事業主任、遠藤典子メネット事業主査をはじめ近隣の各クラブからの女性会員やメネットの方々に加えて、男性の方もそれなりに。任期満了間近の遠藤道寛部長の真紅の衣装も毎度おなじみ。

メインゲストとして、鍛冶田千文さんから卓話をいただいた。大阪 Y M C A 国際専門学校高等課程「表現・コミュニケーション学科」学科長であり、センテニアルクラブ連絡職員をされている。



チャリティランなどを通して「河内」との思い出や、「らくらく登山」プログラムの話題に触れられ、賛辞を述べられて心準備をされた。さて、本題は、「表現・コミュニケーション」について。いじめなどで不登校気味になった生徒らを対象に大阪 Y M C A が 3 年前に開設した高校卒業資格を取得できる国際専門学校でのお話である。この 3 月に、毎日新聞に報道記事として大きく紙面に掲載されるなど、昨今の社会的な問題としてクローズアップされているテーマを学ぶ機会を与えていただいた。メモを頼りにお話のエッセンスを辿ってみます。

一見、普通の子。付き合って、我儘な子だなぁ、と。「ペン持ってる?」との問いに、「持ってる」と答えるだけで、「お風呂みてきて?」には、「見てきたよ」で終わってしまう子。言葉を字義通りにとったり、対人関係が苦手だったり、空気が読めないなど、LD、ADHD、広汎性発達障害、高機能自閉症、アスペルガー症候群等々といわれているのです。あのトム・クルーズも読み書きが困難だったり、アインシュタインやマイクロソフト社のビル・ゲイツ氏など超一流の人物においてさえ、いわゆる「普通の子」ではありません。南 Y M C A の学院高校(通信制単位制)にも、800 人の生徒がいますが半数以上がどこかの高校をやめてきた子なのです。

毎日こなくてもいい。でも毎日来る「元不登校の生徒」で

す。学校が楽しいのだから。だったらそんな学校を作ればいい。そんな子供たちの学校なのです。学校生活になじめない子、人との関係や友だちづくりが難しい、そんな子が、自分に自信をもち、自尊心を高め、人と関わって社会的自立のできることを目指しています。Y では生き生きとしている子供たち、勉強よりも人間らしい生活を願っているのです。不登校の理由はまちまちで、いじめ、暴力、教師の重圧などあります。大阪には 530 の中学がありますが、中3に一人不登校がいれば、530人は行くところがなく、そんな子を受け入れる私学はほとんどないのが現状なのです。



「仲間づくり」は、違いを認め合うように導いています。先生と仲良くなって楽しいなぁ、友だちに褒められてはじめて楽しくなる。誰もが生まれてきてよかったと思い、自分も大切、相手も大切と知り、支えあう環境づくりのために努力しています。レベルの差はありますが、底上げするように一緒にやってゆくことを意図的に進めています。「先生、勉強して自分のためにするんだなぁ」人と競争するためにするのではないことに気づいてくれたことは、とても印象に残っています。

「小さな、小さな学校ですが、Y M C A には幼児がいて、中学生がいて、大人がいて、留学生や障害者がいて、あらゆる人たちがいる「小さな地球」である」と言い続けています。「ボランティアのいる学校」、ワイズメンや会員の人たちにクリスマスやカーニバルにも協力していただいたり、「祈りのある学校」として、月に一度の礼拝もあります。大阪教会にもお世話になり、パイプオルガンの響きにほっとするひとときがあり、「生活の改善」と「人格の向上」を願って祈りつづけてこられたジョージ・ウィリアムスがここに生きています。

今年、17人の生徒が卒業し、11人が大学や専門学校へ進学するなど、新たな道へ歩みだされました。Y M C A だからこそできる、Y M C A だからこそ与えられた仕事、お話を聴かしていただいた率直な感想で した。



お話の中で、彼女は、聖句から次の個所を示されました。愚かな者としてではなく、賢い者として、細かく気を配って歩みなさい。時をよく用いなさい。今は悪い時代なのです。だから、無分別な者とならず、主の御心が何であるかを悟りなさい。酒に酔いしれてはなりません。それは身を持ち崩すもです。むしろ霊に満たされ、詩篇と賛歌と霊

的な歌によって語り合い、主に向かって心からほめ歌いなさい。そして、いつも、あらゆることについて、わたしたちの主イエス・キリストの名により、父である神に感謝しなさい。(エフェソ信徒への手紙 5-15)

恒例であったメンの「蝶ネクタイ姿でのおもてなし」ではなく、通常の例会形式となりました。食事は、美しい二段重ねの和食お弁当でしたが、出席者数がお弁当の数を少し上回らして、今後課題を残しました。ごめんなさい。お花を生けて下さったり、フルーツをご用意くださったり、やはりメネットの方々のお心配りによって盛り上げていただきました。いつもと、どこかが違う、そんな例会にエネルギーをいただいた思いがいたします。



結婚記念の杉浦さんご夫妻



阿南海洋センターへの献金の贈呈

にこにこ語録(5月例会)

テープ起稿 大谷美佐子

丸尾メ 今日は本当に楽しい例会でした。有難うございました。

遠藤阪和部部長 鍛冶田さん有難うございました。酒浸りにならないように帰ります。

鍛冶田さん つたない話で申し訳ありませんが、皆さんが聞いて良かったなあとおっしゃることを祈っています。



林メネット主任 毎年5月には河内



クラブに寄せていただくこと楽しみです。今日はゆっくりお礼とお願いを申しあげたかったのですが時間が無いとのことですので次に廻させていただきます。西日本区大会では大変お世話になります。楽しいメネットアワーで終わりたいとおもっています。

今井(なかのしま)毎月寄せていただいております。鍛冶田さんは本当に大変なお仕事をされてい

ますこれから頑張ってください。

遠藤メネット主査(泉北) メネット主査もあと1ヶ月と16日になりました。ラストパートで頑張りますので宜しくお願いします



佐々木(泉北) ふくよかな佐々木です。毎年喜んでメネット例会に出席しています。

杉浦(奈良) 西日本区大会まで後1ヶ月となりました。望月さん、初田さんにはお世話になっております。これからは正野さんにもいろいろお世話になるでしょう。宜しくお願いします。



杉浦メ(奈良) 例年のごとく結婚祝いを頂きまして何枚か写真があります。今度も楽しみにしています。YMCA ならではのすばらしさを教えていただきました。

宍戸メ(奈良) 楽しいメネットらしい例会でした。ワイズ歴50年ですが誕生日祝いを頂いたことが無かったので今日はうれしいです。



加藤(ティンカーベル) 久しぶりに参加しました。楽しかったです。



初田メ 今日は有難うございました。来月の西日本区大会を楽しみにしていましたが行けなくなり残念です。

望月メ 大変なお仕事ですが子供達のために頑張ってください。今日は沢山来ていただき、またお菓子も有難うございました。

伊藤メ 有難うございました。司会を間違えてしまいましたすみません。

新本メ 忍耐のいるお仕事で大変です、体調に気をつけて頑張ってください。

大藪メ いいお話し有難うございました。美味しいお食事でした。今日は出席して良かったです。

吉田(サウス) らくらく登山で気持ちのいい汗をかかせていただきました。参加したサウスのメンバー大喜びでした、お疲れ様でした。今日のお話しですがYMCAでなければ出来ないことです。よそでは出来ないことをしているYMCAを応援させていただきます。



荒川(名古屋グランパス) 現住所は大阪市城東区です。すばらしい例会有難うございました。また参加させてください。



今回はメネット例会でスピーチはゲストとメネットの皆さんのみです。河内のメンは献金で協力しました。

本日のにこにこは 28217 円でした。

第33期 第12回役員会

2008年5月22日(木) 東YMCA

“クラブはひとつのオーケストラ”

日本区強調月間 評価・計画

出席者

丸尾・山内・初田・芳澤・望月・正野・横田・濱添・佐古・田中・藤井・

6月例会 6月19日(木) サンホーム

担当：Cグループ

横田・大谷・田中・望月・山内・濱添・青野

クラブ内スピーカ 佐古至弘君

タイトル 奈良傳氏の想い出

例会役割分担

司会 横田憲子 君 聖句朗読 山内信三 君

食事手配 大谷美佐子 君 食膳感謝 山内信三 君

ニコニコ 望月強 & 大谷美佐子 君

受付 濱添吉生 君

7月号プリテン原稿

こーひーぶれいく 濱添吉生 君

役員会報告 大谷美佐子 君

例会報告 初田 稔 君

Yニュース 鈴木えみ 君

サンホームニュース 尾北 昇 君

メネットコラム(私の独り言) 望月治子 さん

にこにこテープ起し 田中惟介 君

巻頭言 山内信三 君

審議事項・連絡事項

《審議事項》

1. 次年度への計画、委員、引き継ぎ等について

(山内信三)

次期の会長主題

「楽しく充実したクラブライフを」

活動計画・年間行事予定。各委員長・ネットワークの類は6月例会で配布の予定。

例会担当の長にはゲストスピーカ者の充実をお願いしたい。早い目にゲストを決めて頂きたい。

2. 加藤寿枝さんの入会について

現在までかなりの回数で例会に出席して頂いたお礼、入会の意志を表明されたので、推薦者の宮本桂子さんに手続きの書類を書記より送る。

3. Yサ・ユース事業「カヤックを贈ろう」への特別予算計上について

103,000円を5月15日、遠藤通寛部長に託しました。クラブ内献金にクラブより補助をして1000000円の予定でしたが、当日席上献金があり追加してお渡ししました。

4. 西日本区大会の役割について (丸尾欽造)

1000年会館・会場内案内担当

14日(土)10時から 8時45分現地集合

15日(日) 9時から

横田憲子、岩坂正雄、佐古至弘、山内信三、芳澤伸之、藤井敬子、田中惟介、

メネットアワー受付 1000年会館・中ホール

14日(土)11時~

伊藤玲子、丸尾初子、望月治子

その他の役割

大会本部：望月 強 PC：正野忠之

写真班：伊藤圭介、丸尾欽造

*次回現地打ち合わせ会は、5月31日、

午後2時から 1000年記念会館にて

*ホスト用ポロシャツのサイズ確認

5. 一泊研修会 収支報告 (山内信三)

5月17日~18日に開催されました。参加者は13名でした。報告は別ページに記載してあります。

収支決算も承認されました。

6. 佐古至弘君の顕彰記念品について (初田 稔)

佐古至弘君が奈良傳賞を受賞するにあたり、記念品を河内クラブに贈呈したいとの申し出があり、クラブ内の備品としてワイヤレスマイクとピンマイクを購入してはとの意見があり、承認されました。購入の担当は正野忠之君にお願いしました。

7. 今月の「なごみ」 5月24日 第4土曜日

参加予定者

丸尾初子・横田憲子・伊藤玲子・藤井敬子・大谷美佐子・

8. その他

クラブアピール用の冊子が出来上がりました。クラブのロッカーにありますので、使用に関しては使用枚数と目的・残数・担当者を記入してご使用ください。

6月1日(日)サンホーム大掃除

午前10時00から

おめでとうございます。

青野剛暁君に待望の長男が誕生しました。

5月20日PM20:22に無事男の子を出産しました、母子共にとても健康で、素直にほっとしたのが本音です。とても感動的で言葉にするのが、少し難しいです。これからは父親としても頑張ってまいります。皆様にはいつも何かとお世話になっていると思いますが、これからも、どうぞよろしくお願い致します!!

青野剛暁



河内クラブのメンバーにコメントが誕生したのは、12年振りになりますか。本当に嬉しく思います。お元気で健やかに成長されますことをお祈りいたします。

一泊研修会(六甲 YMCA)

報告 山内信三

恒例の一泊研修会は5/17(土)~18(日)にかけて、YMCA六甲研修センターで行われました。

テーマはワイズ活動の足元を見直すことを目指して初日は阪和部EMC主査の正野忠之さんから阪和部の、西日本区書記の望月強さんから西日本区の現況と課題について発表していただき話合いの時をもちました。2日目は河内Y's会長の丸尾欽造さんから河内クラブについて発表いただきました。

正野さんの発表の要旨は 西日本区EMC主任の澤田賢司さんがまとめられたDVDによるとクラブ例会は「ドライブ」、会長、司会者が中心になり、例会の流れとゲストについて十分に打ち合わせを行い、分刻みの進行表にそって進められている。部EMC主査として他クラブの訪問を通して、各クラブの例会はソレゾレ特色があることが分かった。河内クラブはよくバランスがとれていると実感している。和歌山はこの一年で人数でもV字回復がみられ、もてなしの心での丁寧な対応を感じる。堺は自由でオープンな例会。サウスは大人の雰囲気がある。その善し悪しは言えないが例会の基本的な要素は守り、メンバー同士、ゲスト、ビジターへの心配り、ホスピタリティの大切さを学んでゆきたい。

阪和部の今季の入会者は17名、退会者1名で良い結果になっている。次期の東雅美主査に引き継いでゆくが、各クラブのEMC担当者は連絡一つをとっても多くが会長、会計が代行し担当者が活動的なクラブは3つ位だった。

望月さんの発表の要旨は 西日本区のこの1年の収支状況は3千万の収入に対し、3千2百万円の支出で、この状況が続けば約5年で繰越金1千2百万円を食いつぶす見通しになる。年会費一人千円の値上げが検討されている。千円でも西日本区1700人で170万円となり、会員増強と歩調を合わせ健全運営を図る。国際大会を横浜で開催する事が決定しているが、その決定のプロセスで西日本区の役員会では謀られたが最高議決機関である代議員会には議題として挙げられていなかった事が指摘されている。特に東日本区が主担し、西日本区が補佐する件、大会会計で1500万円の赤字予算が見込まれ、東西で1/2の750万円づつを負担する件、等が懸案となっている。

Y'sとして、経過について、当時の担当者に恥をかかし、窮地に追い込むことは避けなければならないが、Y'sが特別会計として所有するJWF約2千6百万円の活用も視野にいれて検討が始まっている。

丸尾会長の発表の要旨は

クラブ内には、クラブ役員、事業委員、プロジェクト委員等の任務があり、阪和部では部長、役員、主査、監事があり、西日本区には理事、役員、主任、監事と任務を負っている。今年の担当者は前任者から引き継ぎを受け、何らかの研修の場があったのかと振り返ると、ほとんどの任務での引き継ぎが不十分といえる。どの様にして引き継ぐのか、例えば、資料とノートでの引き継ぎも大切だが、問題点の引き継ぎも是非してゆきたい。

この仕事は誰がするのかよく分からない仕事が多い、Y'sの職、ジャンパー、バナー、万国旗、は誰がどこに保管しているのか。マニュアルもなくチェックする人もいない。

Yサと地域奉仕の線引きは出来るのか、ミャンマーのサイクロンと四川地震の募金は西日本区のYサと地域奉仕の両主任から届いている。河内では募金をYサの佐古さんには依頼したが、地域奉仕の横田さんには頼

んでいない。

例会担当者は何をするのか、当日の司会、記録等と共にゲストの交渉も委員長と副担、委員の責任としてとらえていきたい。みなで人脈を出しあって、年間のゲスト予定表を作る。ドライバーも交え例会担当の長、副でゲストに絞った会を開催する。

役員会、各種の準備会等の会の持ち方を考えたい、冗談が多くなり、ヒソヒソ話が多くなる会は良くない。結論を出す議題、そうでない課題を区別し、会のまとめとして書記が会の終りに議題を確認する等の手順を取り入れたい。

多くの会で、参加している人は楽しんでいるが、担当者はしんどい思いを持ち、その落差が大きい。担当者への一言の感謝の言葉も大切にしたい。

会計から各種の会合、行事、物品購入等で仮払いを受ける場合、早く清算する。

メール担当委員は引き続き丸尾が担当する。

・以上の通り、3人からよく準備された発題がなされ、有意義な話し合い持たれた。

(出席者) メン:丸尾、大谷、正野、新本、宮本、望月、山内、横田、芳澤。

メネット:丸尾、新本、望月、伊藤。



らくらく登山六甲編



研修会の準備



研修会場



夕食会



乾杯



全員でパチリ



「もっと、バタバタして~!!!」

大阪東 YMCA 桃の里
灌中 慎介

YMCA に入職して 10 年目。アクアティック（水泳）プログラムを中心に奉職してきて、きっとこの『言葉』がこの 10 年間で一番口にしてきた言葉ではないかな、と思っています。そして、この『言葉』が水泳を通じて、子ども達にやる気と自信を与えていくことができているのだ、と自分勝手に自負しております、この 4 月より南 YMCA より異動して参りました灌中でございます。

最近、『言葉』に関してより敏感になってきた自分を感じています。ある日、新聞を読んでいると、北海道警察の「刑事の誓い」という言葉が載っていました。

社会正義のために、これがわれわれの使命である 打てばひびく、これがわれわれの感覚である
腰軽く粘り強い これがわれわれの根性である 心と心の触れ合い これがわれわれの誠意である。
物からものを聞く これがわれわれの科学である。 話し上手より聞き上手 これがわれわれの技術である。 どんな役にも誇りを これがわれわれの組織である。

一線の刑事の指針を示したこの『言葉』はきっと多くの刑事たちを励ましたのでしょうか。我々 YMCA ウエルネス活動も今年度は、「子どもたち体力低下・自然体験の希薄さにチャレンジします」という『言葉』をテーマに活動をしていきます。私もこの『言葉』によって指し示されるべき、指針を常に確認しながら、そして皆さんの協力を得ながら、より YMCA 活動を強めていきたいと考えております。今後ともよろしく願いいたします。

.....

SUN HOME NEWS

1、外出行事（長居公園） 6月22日(日)

特別養護老人ホーム入所者 6 名とご家族が、長居公園での散策、食事、おやつ等を楽しみます。

2、サンホームギャラリー

3 回目となる聖句書道展をみとキリスト教会佐藤義行牧師の協力により今年も開催します。

今回は、サンホーム 1 階のギャラリーで 7 月 1 日(火)から 7 月 15 日(火)まで開催します。聖書のことばが書道によって力強く表現されています。一度ご覧になってみてはいかがでしょうか。

.....

大阪河内クラブの皆さんへ

少し照れくさいですが、クラブ活動に関して書かれていますので、転送させていただきます。

内容は、ペンギンの平和運動、ティンカーベルの活動、その時の言葉では表現の出来ないほど素晴らしい記念コンサート、車椅子清掃、例会でのディベート、写真などをホームページを通して眺めていますと心が洗われます、などお褒めの言葉を頂いております。

オーストラリアからです。

伊藤 圭介

Congratulations to you and Mrs Itoh on your recent wedding anniversary.

Thanks dear friend for the wonderful insight into the most outstanding array of topics - all are so stimulating to the mind. Firstly the Club News and the messages they contain are really thought provoking. The message of the Penguin as a vehicle of peace. The outstanding workshop and then debate - how great was that to get all members involved. Your work with cleaning the wheelchairs and that unbelievable concert - those present will all relive that event over and over again in their minds, and their hearts would have been filled with great joy and much happiness. Your photos of the wonderful spring flowers live in my mind, I see those scenes over and over again. Thank you for sharing so much of what nature gives to you. You know beauty is in the eye of the beholder (that is a saying we have), you certainly have a wonderful eye and heart to give these treasures to us all. Your display of the Gourds photos left me spell bound, such treasures and so reverently presented by the artists. Thank you, and the other editors for truly being vehicles of peace, and goodwill. Our movement is indebted to you all, for what you give in time, but more so, the way you are taking us all into your hearts and showing us the joy and happiness you are all experiencing in what you do, what you feel and what you see, every day.

My grateful thanks,

Christine and John Deasey, Central Coast Australia

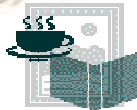


ネットコーナー

連載 NO 43 「私の独り言」

丸尾初子さん

文字通りの「独り言」。ハッと、気がつく主人と二人だけの生活をしている。末娘が独り暮らしをするようになった四月から早や二か月になろうとしているのに、何をバタバタ忙しい毎日を過ごしているのだろう。自分に「どうしたの?」と問うてみる。答えがみつからない、何やら奇妙なこと。二人きりの生活になってどこが変わったのだろうかと考える。これからは気ままに「あれもできる」、「これもしたい」、そんな思いがバタバタさせるのだろうか。今まで気がつかなかったお互いの良いとこ、悪いとこが目立つようになった気がする。「素直に反省もするよね」と、自分に言う。二人で出掛けることが多くなったが、帰宅時間に縛られることもなくなった。解放された気分だけは存分に味わえている。バタバタと解放感と、「酉年」の私には似合っているかも。そんな私が大好き。



: 108 . . :

初田 稔君

今までかなりの病気になり、その都度に病名を告知されてもあまりショックはなかった。今回は疑いが出てから検査のためにクリニックの小児科と産婦人科を除く全ての診療を受けました。

しかし、その結果として、この3月に一度に4つの病名を告知された時はかなりのショックを受けました。それよりもショックだったのは、非常に特殊な癌で現在の医学では治療の方法がありませんと言われた言葉だった。直ぐに主治医に聞きました。「余命はどれだけあるの、3ヶ月、6ヶ月、一年持ちますか」「何とも言えません」「私にはする事が沢山あるのです。はっきりと言って下さい」「何とも言えません」「取り敢えずホルモン療法から始めるのが良いと思います。それが効かなければステロイドの治療をしましょう」と言われ更に、追加で抗がん剤を服用し、現在は三つの治療を併用している。

主治医からセカンドオピニオンの奨めもあり、先日成人病センターへ行ってセカンドオピニオンの申込をしてきました。そのときの受付をして下さった方が書いた受付番号が「108」でした。私は仏教

徒ですから、108の数字を見て直ぐに「煩惱」のことを思い出しました。まだこの世に未練があるのだな、仏様は私の未熟さをよくご存知なのと、まだまだ雑念が多くて、天国へも地獄へもいけないので、この世から姿を消すのはもう少し後になるな、と勝手に自分を慰めています。

サンホーム大掃除

例年 8 月に行われていた「サンホーム大掃除」は、本年は「酷暑の夏」を避けて、6月に実施されました。参加者は、スタッフ、ボランティアを含めて64名(名簿)でした。ワイズからは、横田憲子、芳澤伸之、伊藤玲子、尾北 昇、濱添吉生、丸尾欽造の6名が奉仕いたしました。

1階から6階まで、そして外観、ベランダと、全館を対象に、フロア、壁面、天井、設備まわり、什器備品等々、ぴかぴかに光りました。

入居者の人たちのお部屋では、お話をしながらの仕事でしたが、何度も感謝の言葉をいただきました。作業のあと、全員で昼食をいただき、参加者それぞれのご紹介やピンゴ・ゲーム など楽しいひとときもありました。



6月例会にペンギンの折紙をご持参下さい。

ご家庭で作っていただいているペンギンの折紙を長崎に送りたいと思います。

丸尾初子

HAPPY BIRTH DAY

伊藤 玲子 19XX年6月7日生
佐古 利子 19XX年6月15日生



WEDDING ANNIVERSARY

結婚記念日の方はおられません

日本区通年強調目標 Public Relations

ワイズメンズクラブの活動は社会に光をもたらすものです。自らの活動を「世の光」として積極的にアピールし、ワイズメンズクラブの認知度を高めましょう。
守田富男 広報事業主任（八代クラブ）

西日本区強調月間 評価・計画

今年度の計画は予定通り実施でき、期待の成果が上げられましたか？。行事終了後、速やかに反省会を持ち、その反省を次の計画に生かしましょう。
神谷 尚孝 西日本区理事（和歌山クラブ）

6月 - 7月の予定

6月

6月 1日(日) サンホーム大掃除
6月 6日(金) 第2例会東 YMCA
6月14日(土) ~ 15日(日)
西日本区大会 奈良100年会館
6月19日(木) 第1例会 サンホーム6階
6月 21日(土) 第19期 第4回評議会・
第20期 第1回評議会
評議会終了後懇親会
6月26日(木) 役員会 東YMCA
6月 28日(土) なごみ

7月

7月 4日(金) 第2例会東 YMCA
7月17日(木) 第1例会 サンホーム6階
新旧役員交代式
阪和部長公式訪問
7月24日(木) 役員会 東YMCA
7月 26日(土) なごみ

事業委員長各位 今期の活動報告

6月例会において、各事業委員長様に会長の総括を補足し、ご報告頂きます。

会長の総括で足りれば略させていただきますが各事業委員長は事前に報告を取りまとめておいて頂き会長宛にご送付ください。

頂いた原稿は7月ブリテンにも掲載いたします。

Wind From Kawachi

第33期も今月で終わり、第34期へと活動を展開することになります。ブリテン編集長として会員の皆様に原稿の依頼で、不快な思いをさせたこともあったと思いますがお許しください。次期会長にもお願いして編集長を辞任したいと申し出たのですが、もう少し頑張れと辞任の許可が出ませんでした。どれだけ出来るのか未定ですが、出来る限り務めさせていただきます。もう少しお付き合い下さい。
(M.H)

第33期 クラブ 役員

会長:丸尾 欽造 副会長:山内 信三 書記:初田 稔・大谷美佐子 会計:藤井 敬子・芳澤 伸之
メネット会長:丸尾 初子 直前会長:望月 強 連絡主事:濱添 吉生
例会場・役員会場 : サンホーム 東大阪市御厨南3-1-18 TEL 06-6787-3733
大阪河内クラブホームページアドレス <http://1st.geocities.jp/yskawachi2007/>